

とちぎ技能五輪・アビリンピック2017 基本計画の概要

第55回技能五輪全国大会・第37回全国アビリンピック

1 基本方針

次世代を担う青年技能者の育成を図り、ものづくり技能が尊重される社会の実現を目指すとともに、障害者がそれぞれの可能性を十分に発揮できる社会の構築を目指す。

「とちぎ元気発信プラン」(2016-2020)での位置付け

・重点戦略2 強みを生かす成長戦略
2とちぎを支える企業応援プロジェクト } 実現への重点的取組

《8つの方針》

- | | | | |
|----------------------------|-------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|
| ① 技能の向上
技能の研鑽、選手の計画的な育成 | ② 技能の尊重
「ものづくりの素晴らしさ」のアピール | ③ 技能の継承
ものづくり技能の維持・継承 | ④ 社会参加と自立促進
障害者の技能向上、技能労働者としての理解促進 |
| ⑤ 情報発信
ものづくり県の姿や実力の紹介 | ⑥ 環境への配慮
省エネ・リサイクル等の推進 | ⑦ 交流と相互理解の促進
併催事業等による交流おもてなし | ⑧ 県民参加
ボランティア、障害者団体等の協力 |

2 とちぎ大会の特色

- ① 次世代のものづくり人材の育成・交流に繋がる大会
- ② 地域・生活に根ざした技の披露により大会参加者と県民が交流できる大会
- ③ 経済団体、参加企業、関係機関・団体等が連携し「オール栃木」体制により取り組む大会



3 大会概要

○ 第55回技能五輪全国大会

主催 厚生労働省、栃木県、厚生労働省委託機関
期日 平成29年11月24日(金)～27日(月)
競技数 41職種(参加予定 1,200人/原則23歳以下)
主な施設 栃木県体育館、マロニエプラザ
県央産業技術専門学校、宇都宮工業高等学校
ポリテクセンター栃木、宇都宮市体育館
関東職業能力開発大学校

※施設等は、今後の主催者協議により変更されることがあります。

【技能五輪全国大会競技職種】

機械組立て、抜き型、精密機械組立て、メカトロニクス、旋盤、フライス盤、機械製図、構造物鉄工、電気溶接、木型、電工、タイル張り、自動車板金、曲げ板金、配管、電子機器組立て、工場電気設備、石工、左官、家具、建具、建築大工、貴金属装身具、フラワー装飾、美容、理容、洋裁、洋菓子製造、自動車工、西洋料理、造園、和裁、日本料理、レストランサービス、車体塗装、冷凍空調技術、ITネットワークシステム管理、情報ネットワーク施工、ウェブデザイン、とび、時計修理

○ 第37回全国アビリンピック

主催 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、栃木県
期日 平成29年11月17日(金)～19日(日)
競技数 22種目(参加予定 300人/15歳以上)
主な施設 栃木県体育館、マロニエプラザ

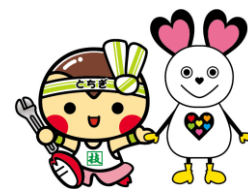
【全国アビリンピック競技種目】

洋裁、家具、DTP、機械CAD、建築CAD、電子機器組立、義肢、歯科技工
ワード・プロセッサ、データベース、ビルクリーニング、喫茶サービスほか

【式典】 開会式:競技に向け士気高揚を図り、栃木の魅力を体感する演出
閉会式:選手の晴れ舞台を華やかに、栃木の思い出が残る演出

【大会スローガン】 「とちぎから未来へ 翔く技と夢」
みらい はばた わぎ ゆめ

【大会シンボルマーク】 【大会マスコットキャラクター】



とちまるくん・ナイチュウ

※両大会合計来場者数は延べ15万人を想定(選手、関係者含む)
※障害者ワークフェア、ものづくりイベント、観光・物産展等を併催

4 大会運営

○ 宿泊施設

快適で関係者の要望に沿う宿泊施設の提供

○ 選手・来場者輸送

式典や競技日程等を勘案した輸送体制の確保、障害者や会場移動の利便性に配慮したシャトルバスの運行

○ 警備・交通

警備員の配置や案内標識の設置

○ 防災・医療

迅速に対応する防災体制の整備、応急処置用の救護室の設置

5 広報・啓発

○大会スローガン、シンボルマーク、各種広報誌・イベント等の活用

○プレイベントの開催、大会HPの運用

6 推進体制

○「とちぎ技能五輪・アビリンピック2017推進協議会」による開催準備や大会運営への取組み

○企業・団体との連携(会場確保、広報活動、協賛金)

7 選手育成・強化

○技能向上訓練経費の助成、とちぎマイスター等の派遣